

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0852  
 住 所 川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号  
 氏 名 医療法人社団 こうかん会  
 理事長 別所 隆 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	医療法人社団 こうかん会		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院、一般診療		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,091	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	事務局 業務室設備担当
		所在地	川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号
		電話番号	044-333-5591
		FAX番号	044-333-5599
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成28年度 ~ 平成30年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

#### 1. 事業者全体の基本方針

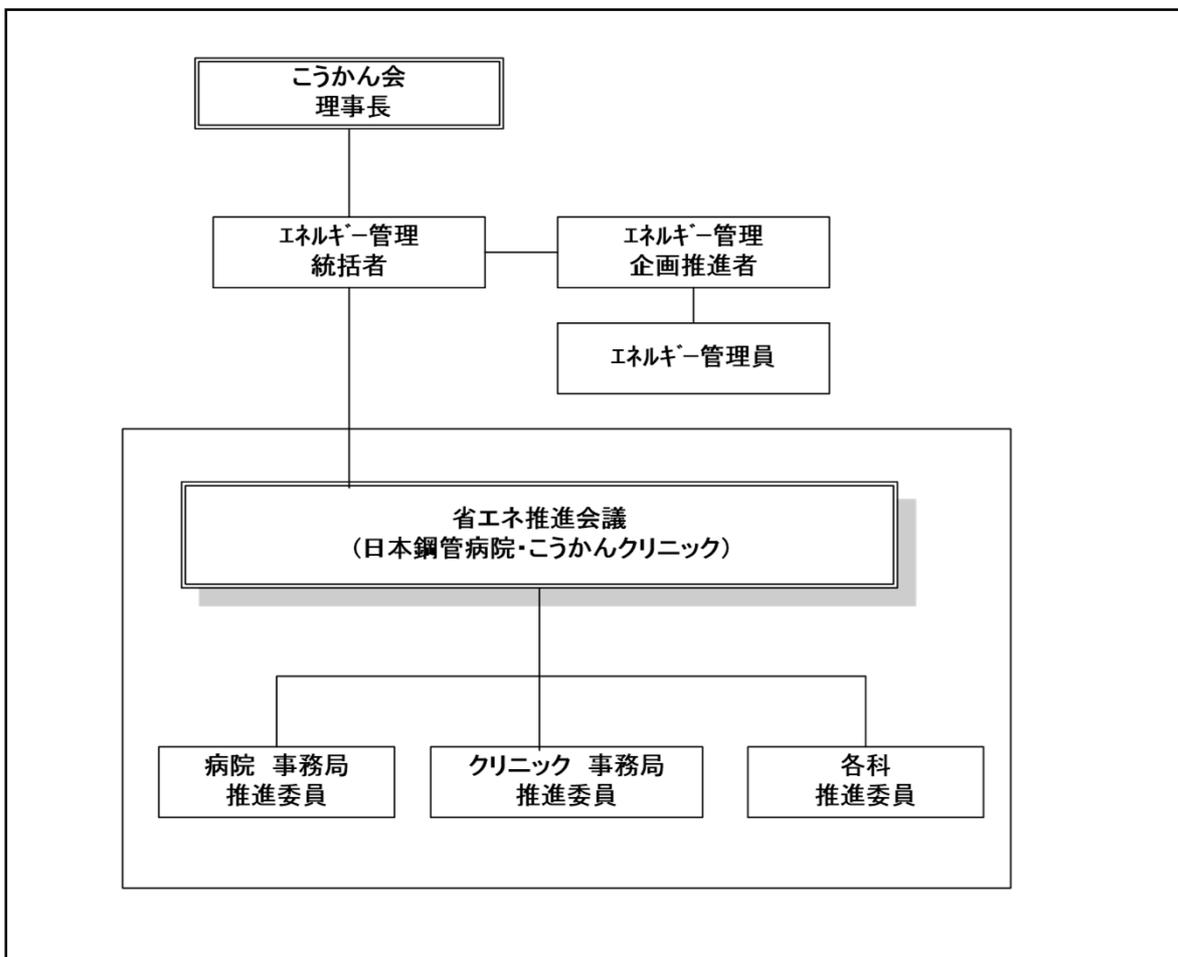
次の3点の方針により、積極的な地球温暖化対策を進めている

- (1) 省エネ推進会議での検討、確定した取組を組織に行い、継続的に対策を推進する。
- (2) 目標を明確的に定め、PDCAを基本に温室効果ガス排出量の削減に取り組む。
- (3) 温室効果ガス削減に寄与すべく、グリーン購入、トップランナー適合品の積極的な導入を図って行く。

#### 2. 事業所の基本方針

- (1) 計画期間(3年間)に事業活動地球温暖化対策指針にある基本対策メニューの項目を着実に実行する。
- (2) 同指針の目標対策メニューのうち、再生可能エネルギー源の積極的な導入検討を図る。
- (3) BEMSを有効を含め、現状のユーティリティ値を職員一同へ向けて共有化する事により、省エネ・創エネを積極的の取り組む。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成27年度	目標年度	平成30年度
基準排出量	(実) 4,157 (調) 4,109 t-CO <sub>2</sub>	目標排出量	(実) 4,000 t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実) 3.8 %	削減量	(実) 157 t-CO <sub>2</sub>

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	単 位
基準年度の値	目標年度の値
削減率	%
延床面積、生産数量 以外の原単位を使用 した場合の理由	

ウ 目標設定に関する考え方

<p>今後3年間で、以下の対応等により、3.8%以上の排出量削減を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. BEMSの運用方法の確立と院内広報、又、省エネコントロールを含めた、省エネ推進会議の充実とPDCAの実践。</li> <li>2. 空気調和装置等ファン、ポンプ類のINV化の推進及び、PACエアコンの運用変更。</li> <li>3. 照明器具のLED化、無電極ランプ化への推進。</li> <li>4. ボイラ設備の老朽更新により高効率を図る。</li> <li>5. その他、再生エネルギー等の検討 (補助金有効利用含む)</li> </ol>
---

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<p>◇基本対策</p> <p>1. 主要設備の保全管理</p> <p>1) 主要設備であるボイラー設備、冷凍機設備、空調機、空気調和装置、受電変電設備、照明設備、エレベーター設備、冷温水発生装置に対し、管理標準を省エネに特化した見直しを行い、運転マニュアルを再構築する。</p> <p>2) 管理標準、またマニュアルに従い 設備を運転、管理し、省エネルギーに必要な使用量、負荷変動などのデータを採用する。そのデータから、省エネルギーに必要な排出量、原単位などの管理すべき数値を算出し、効果的な運転について工夫や、検討を行い、実施する。</p> <p>◇目標対策</p> <p>1. 具体的な削減計画を作成し、実施、推進及び、効果を測定し、計画を修正する。(PDCAサイクルを回す)</p> <p>2. 中長期的な省エネ対策を計画し、推進する。</p> <p>1) 病棟の窓ガラス省エネフィルムの張り付け</p> <p>2) 病棟廊下、事務室内蛍光灯照明の高効率ランプ採用</p> <p>3) 病棟空調機 (PMAC) 装置をインバータ化に更新</p> <p>4) ボイラー設備更新 (28年度～)</p>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

--

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. H22年                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・南病棟系統AHUファンモータ(30kw*2台)INV化、南病棟系統換気ファン(18.5Kw)INV化</li> </ul> </li> <li>2. H23年                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・北病棟系統AHUファンモータ(30kw*2台)INV化、北病棟系統換気ファン(18.5Kw、37kw)INV化</li> </ul> </li> <li>3. H24年                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来棟、診療棟系統AHUファンモータ(11kw、18.5Kw)のINV化、リハビリ空調機(22kw)INV化</li> </ul> </li> <li>4. H25年                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・テマント監視装置(BEMS)設置</li> <li>・5階病棟(南・北)蛍光灯HF化(150本)及び一部LED化</li> <li>・南機械室給排気ファンモータ(15kw*2台)INV化、非常階段照明点灯方法の改善(有事にて点灯)</li> <li>・定期的な省エネ推進会議の開催(省エネパトロール・省エネ改善提案制度、他)</li> </ul> </li> <li>5. H26年                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟・外来棟・リハビリ棟蛍光灯HF・LED化160本、鋼和寮C棟ホィー循環ポンプ連動運転自動化</li> <li>・PMAC空調機用冷温水ポンプINV化(15kw*2台)、</li> <li>・冷凍機(R-2)冷水・冷却水ポンプINV化(30kw*2台)</li> </ul> </li> <li>6. H27年                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟・外来棟蛍光灯LED化673本</li> </ul> </li> </ol> |
|---|

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

・特になし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

1. 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。
2. 川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）への参加を行う。
3. 各事務室温27℃設定の運用と院内従業員のケルビズ（ノーマイ）の施行（5月～10月/末）
4. グリーン購入及び、トップランナー適合品の購入推進

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	4,157	t-CO <sub>2</sub>
(調)	4,109	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日本鋼管病院	川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号			3,776 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k <sub>l</sub> 未満	
300~400k <sub>l</sub> 未満	
200~300k <sub>l</sub> 未満	
100~200k <sub>l</sub> 未満	1
100k <sub>l</sub> 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--